

京都府入札監視委員会（令和7年度第4回）議事概要

開催日時及び場所	令和8年2月9日(月) 午後2時00分～午後4時10分 京都経済センター 6-B会議室		
出席委員氏名(職業)	委員長 平 尾 嘉 晃 (弁護士) 委員 宇 野 伸 宏 (京都大学大学院工学研究科教授) 委員 金 尾 伊 織 (京都工芸繊維大学工芸科学部教授) 委員 末 松 千 尋 (京都大学名誉教授) 委員 住 田 浩 史 (弁護士)		
議 事 概 要	1 開会 2 あいさつ (福原総務部副部長) 3 議事 (1)入札及び契約手続の運用状況等について (2)抽出案件に関する入札経緯等について (3)次回抽出委員の選出等 (4)次回開催日程の調整 5 閉会		
審 議 対 象 期 間	令和7年8月1日～令和7年11月30日		
審 議 対 象 件 数	[工事] 445件	[物品] 61件	[プロポーザル] 28件
内 訳	一般競争入札	430件	57件
	指名競争入札	10件	1件
	随意契約	5件	3件
抽 出 案 件	4件	1件	28件
委員からの意見・質問 とそれに対する回答等	意見・質問		回答等
	別紙のとおり		別紙のとおり
委員会意見の内容	○抽出案件に関する入札経緯等について 委員会において、申し述べる特段の意見等はない。 なお、各委員から出された意見・質問について、今後の入札契約 執行の参考にするとともに、「公契約大綱」に基づいた取り組みを 進められるよう努力願いたい。		

3 議事

(1) 入札及び契約手続の運用状況等について

意見・質問	回答等
○特に質疑無し。	

(2) 抽出案件に関する入札経緯等について

①令和7年度海面育成施設製作工事

…一般競争

意見・質問	回答等
○1者入札となった理由はどう考えるか。	○実施設計を経たため、入札時期が想定よりも遅れたこと、また、技術者の高齢化等による人手不足も一因であると推察している。
○1者入札の理由として、事業初年度であることから実施設計を経たため入札時期が遅れたとのことだが、計画的に前倒しにはできないのか。	○次年度の工事は12月補正で予算措置をしていただいております。前倒しは可能である。早期発注により、技術者が確保され、応札業者も一定数増える見込みである。
○競争性を高めるため、入札参加資格の業種や工種を増やすことは検討可能か。	○競争性確保のため、今後も入札参加条件については検討を進めたい。

②京都府府営住宅城南団地建設工事（第1工区）

…一般競争

意見・質問	回答等
○木造とした理由は何か。	○これまで府営住宅では平屋の集会所で府内産材の木造建築を推進してきており、今回の建設地域では用途地域により建築物の高さ制限があり、関係法令の緩和がなければ高層の鉄筋コンクリート造等の建物は建築できない状況であったことや、「京都府産木材の利用の促進に関する基本方針」の取り組みとして、府内産材の利用促進を図っていることがあり、府営住宅の住棟として初めて3階建ての木造建築物として施工するものである。
○木造はメンテナンスが重要だが、検討しているか。	○木造であることによる特別な管理・取扱い等はないが、メンテナンスも考慮した設計としており、工事では設計に基づいた施工監理を行っていく。
○一般的に木造は高頻度でのメンテナンスが必要だが、今回の施工業者は維持管理が可能か。	○府営住宅の管理は指定管理者が担っており、専門的な技術を持つ者を契約の相手方に、全ての団地

意見・質問	回答等
な技量を有しているのか。	において修繕等対応いただいているところ。

③地方港湾宮津港 海岸環境整備（社整）工事 他 …指名競争

意見・質問	回答等
○定期的に修繕を行う必要がある工事かと思うが、施工計画は決まっているのか。	○戦前に空石積みにより護岸整備されたものであり、平成18年頃に通行しやすいよう平板石舗装に張替えた施設であるが、吸出しにより空洞化していることが判明したため、空洞化している箇所を特定し、計画的に修繕を進めている。
○今後指名競争入札を行う場合、指名業者は今回と同じ24者を毎回指名するのか。	○指名競争入札となる場合は、今回と同様に地元業者を指名する予定。予定価格の金額によっては一般競争入札となる。
○技術者の不足等により応札者が減っていく傾向がある中、本件は小規模であるにも関わらず最低制限価格に近い金額での応札が多いが、背景は何か。	○地元に着した工事であり、地元業者として自ら担うべきとの意識から、努力された結果と考える。

④けいはんなプラザラボ棟空調コントローラー改修工事（南側B1階～5階）

…随意契約

意見・質問	回答等
○今後同様の改修を行う場合も、今回の落札業者しか対応できないのか。	○今回は屋内作業が多く、施設利用者が占有している個所の工事も多いため、利用者との調整も含め契約業者に対応いただいているところである。なお、利用者との調整が必要でない工事については競争入札で発注予定である。
○建設業法でいうところの一括下請けには当たらないのか。	○本件は管理委託業者に対し、管理と工事を合わせた業務として発注するものであり、そのうち工事部分を管理委託業者から工事施工業者に委託されるものであるため、一括下請けには該当しない。
○随意契約を想定したときに、見積を徴取する等、工事金額の妥当性について検証したのか。	○同じ建物内や同等設備の工事発注の例と比較することで検証している。
○指定管理者等との委託契約で施設の改修工事を行う場合、工事業者の選定及びその工事金額の妥当性については相見積の徴取等を	

意見・質問	回答等
行い精査すること。	

⑤水中ドローン（ROV）

…一般競争

意見・質問	回答等
<p>○高落札率となった理由と、入札課ではなく発注課で入札を行った理由は何か。</p> <p>○参加資格のある業者は3者しかいないのか。</p>	<p>○高落札率については、参考見積の段階で予算を超える金額が多かったが、各者の積算努力の結果、現在の水準になったと考える。また、発注課で入札を行った経過については、海洋調査時期等を考慮して早期の発注が必要であったが、今年度入札参加資格の一斉更新時期と重なり、追加受付ができなかったため、入札課に合議し、発注課にて入札を行ったものである。</p> <p>○関係機関から要望や助言を受け見積りを徴取したところ、求める要件を満たす業者が3者のみであった。</p>

⑥令和7年度 京都府森林クラウドシステム構築業務

…随意契約（プロポーザル）

意見・質問	回答等
<p>○林野庁でもデータの標準化等が進められていると思うが、それと同様か。</p> <p>○各都道府県で構築されているシステムとのことだが、京都府はどのような特異性があるのか。</p>	<p>○各都道府県で独自に構築しているものである。</p> <p>○京都府では民有林率が非常に高く、また地番が細分化されていることから、設定にあたっては独自の運用が必要となる。</p>